

令和2年度事業報告書

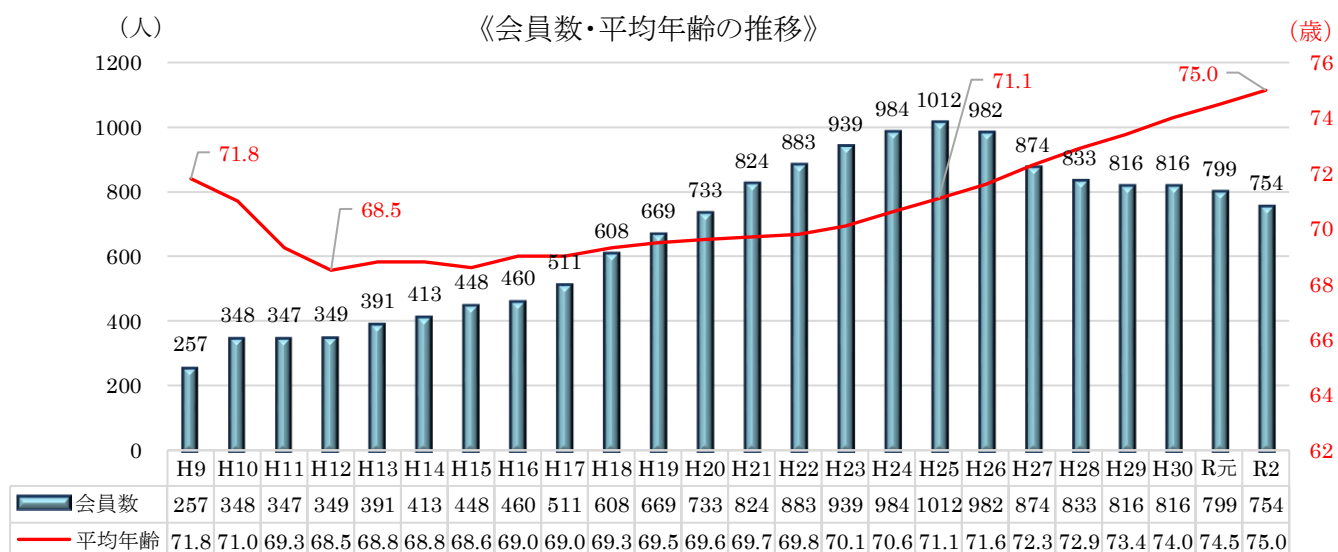
第1章 センターの概況

1 会員

(1) 会員数の減少傾向

公益社団法人伊勢原市シルバー人材センター（以下「センター」という。）における令和2年度末現在の会員数は754人となっています。

会員数は、企業等における定年延長や再雇用の実施などに伴い、平成25年度の1,012人をピークに減少傾向にあります。



(2) 会員の高齢化

60歳代の新規入会者が減少していることから、会員の高齢化が進んでいます。

そうした状況から、植木の剪定や刈払機による除草、障子や襖の張替えなど、技能・技術を要する作業を行う会員が減少しつつあります。

▽年齢階層別・会員数〔各年度末現在〕

区分	性別	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計	平均年齢
R元年度	男	5人	78人	232人	211人	84人	610人	75.0歳
	女	11人	33人	70人	65人	10人	189人	73.2歳
	計	16人	111人	302人	276人	94人	799人	74.5歳
	構成比	2.0%	13.9%	37.8%	34.5%	11.8%	100%	—
R2年度	男	4人	56人	224人	196人	93人	573人	75.4歳
	女	10人	30人	71人	57人	13人	181人	73.5歳
	計	14人	86人	295人	253人	106人	754人	75.0歳
	構成比	1.9%	11.4%	39.1%	33.6%	14.1%	100%	—

▽入会・退会者数

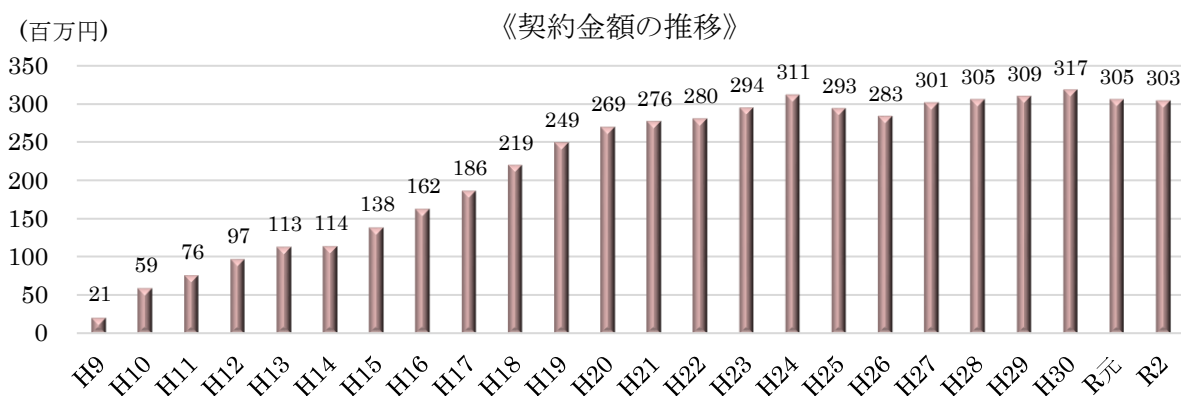
(人)

区分	前年度末会員数			入会者数			退会者数			年度末会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R元年度	635	181	816	48	37	85	73	29	102	610	189	799
R2年度	610	189	799	47	27	74	84	35	119	573	181	754

2 契約額

センターにおける令和2年度の契約額は、303,438,917円となっています。

新型コロナの影響で、特別な業務として市立小中学校の消毒作業の受注があった一方、緊急事態宣言中の公共施設の閉館や利用制限の実施、また、民間事業所の営業・稼働時間の短縮などの新型コロナ対策の実施に伴い、会員の就業日数・時間が少なくなったことなどにより、前年度を下回る契約額となっています。



▽契約分類別・受注件数・契約金額等

区分		受注件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人日)	配分金 (円)	契約金額 (円)
請負・委任	R元年度	2,682	595	55,420	265,448,905	291,694,702
	R2年度	2,577	562	53,904	266,237,508	292,498,727
	対前年比	96.1%	94.5%	97.3%	100.3%	100.3%
公共	R元年度	88		17,764	96,819,865	105,158,219
	R2年度	102		18,027	101,559,854	110,401,094
	対前年比	115.9%		101.5%	104.9%	105.0%
民間事業所	R元年度	541		32,531	132,665,425	144,281,610
	R2年度	513		31,409	130,575,040	141,840,415
	対前年比	94.8%		96.6%	98.4%	98.3%
一般家庭	R元年度	2,052		5,061	35,636,771	41,888,693
	R2年度	1,961		4,438	33,921,560	40,059,718
	対前年比	95.6%		87.7%	95.2%	95.6%
独自事業	R元年度	1		64	326,844	366,180
	R2年度	1		30	181,054	197,500
	対前年比	100%		46.9%	55.4%	53.9%
派遣事業	R元年度	30	41	2,454	10,156,164	12,817,095
	R2年度	24	29	2,037	8,685,494	10,940,190
	対前年比	80%	70.7%	83.0%	85.5%	85.4%
合計	R元年度	2,712	636	57,874	275,605,069	304,511,797
	R2年度	2,601	591	55,941	274,923,002	303,438,917
	対前年比	95.9%	92.9%	96.7%	99.8%	99.6%

〔注釈〕 派遣事業における「配分金」は「賃金」となります。

〔補足〕 区分ごとの主な業務内容

公共： 公民館施設管理、自転車駐車場管理、武道館管理、大山駐車場管理 等

民間事業所： 会社等から受託する清掃作業、室内軽作業、スーパーの品出し作業等

一般家庭： 植木剪定、除草作業、清掃作業、襖・障子・網戸張り、刃物研ぎ 等

独自事業： リサイクル家具の修理・販売

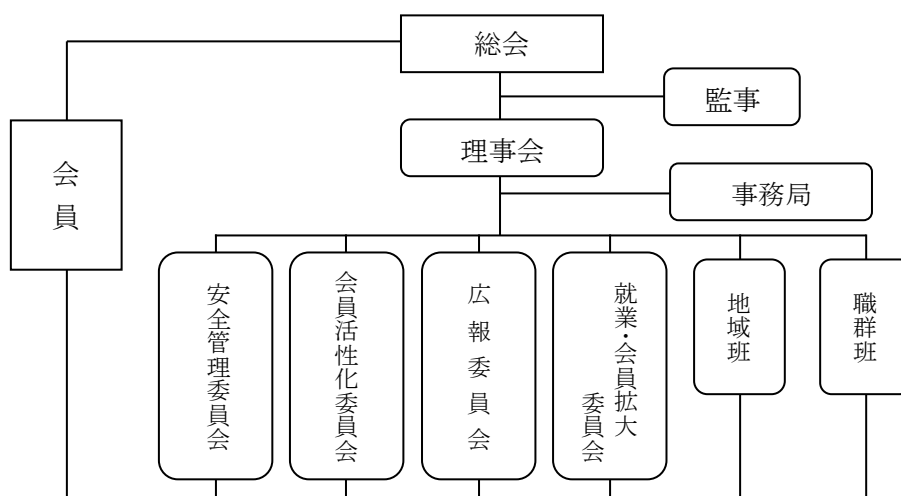
派遣事業： 放課後子ども教室活動サポーター、企業等への会員派遣

第2章 総会・理事会・定期監査の開催

1 定時総会

- ・開催 令和2年6月19日(金)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階・ふれあいホール
- ・表彰 正会員10年表彰51人、役員表彰1人
- ・議案 令和元年度事業報告、令和元年度収支決算、役員を選任、定款の一部改正
- ・報告 令和元年度補正予算(第1号・第2号)、令和2年度事業計画、令和2年度収支予算、令和2年度資金調達及び設備投資の見込み

《伊勢原市シルバー人材センター運営組織図》



2 理事会

第1回理事会(決議の省略)

- ・決議があったものとみなされた日 令和2年5月27日(水)
- ・議案 令和元年度事業報告、令和元年度収支決算、理事及び監事候補者選考要綱の一部改正、役員候補者の選出、事務局長の承認、令和2年度正会員10年表彰被表彰者、令和2年度役員表彰被表彰者、定款の一部改正、令和2年度定時総会
- ・報告 新規入会正会員

第2回理事会(招集手続の省略)

- ・開催 令和2年6月19日(金)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階・会議室
- ・議案 理事長及び常務理事の選定

第3回理事会

- ・開催 令和2年10月16日(金)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階・会議室
- ・報告 理事長・常務理事の職務執行状況、委員会活動状況、新規入会正会員
- ・議案 令和2年度補正予算(第1号)、令和3年度予算編成方針
- ・協議 第三次中期基本計画の策定

第4回理事会(決議の省略)

- ・決議があったものとみなされた日 令和2年12月1日(火)
- ・議案 職員の給与に関する規程の一部改正

第5回理事会（決議の省略）

- ・決議があったものとみなされた日 令和3年2月26日(金)
- ・報告 理事長の職務執行状況、常務理事の職務執行状況、新規入会正会員
- ・議案 公印規程等の一部改正、職員就業規程等の一部改正、令和3年度事業計画、令和3年度収支予算、令和3年度資金調達及び設備投資の見込み

第6回理事会（招集手続の省略）

- ・開催 令和3年3月23日(火)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階・会議室
- ・議案 副理事長の選定

【新型コロナの影響】

緊急事態宣言発令中における理事会の開催を取りやめ、決議の省略（書面による表決）としました。

3 定期監査

- ・開催 令和2年5月12日(火)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階・会議室
- ・内容 令和元年度決算監査

4 その他運営組織

(1) 委員会

正会員で構成する4委員会を組織し、センターの更なる活性化に向けた活動とともに、4委員会の正副委員長会議を開催して、第三次中期基本計画（令和3年度～令和7年度）及び同実施計画（同期間）の策定に当たっての意見交換を行いました。

① 安全管理委員会

安全・適正就業パトロールの実施、「安全だより」の発行 等

② 会員活性化委員会

シルバー会員お揃いグッズ作製事業の検討及び実施 等

③ 広報委員会

年4回の会報「シルバーいせはら」の発行 等

④ 就業・会員拡大委員会

市内事業所等へ出向いての新たな就業場所の確保、会員拡大に向けた活動 等

(2) 地域班

8地域班（伊勢原、大山・高部屋、比々多、成瀬、大田、桜台、石田・緑台、竹園）を組織し、事務局との連携を密にした効率的な会報「シルバーいせはら」等の配付が行われ、また、会員の連帯強化が図られました。

(3) 職群班

植木班、除草班を組織し、発注に迅速で効率的な対応を実現し、また、リサイクル班においては、市との連携のもと活発なリサイクル事業を展開しました。

【新型コロナの影響】

委員会や地域班にあっては、予定していた会議やイベント開催等を一部見合わせるなど、新型コロナの感染対策に配慮した活動となりました。

第3章 令和2年度の主な取組

1 会員の増強

センターが地域の要請に応え続けるため、会員の拡大を図る取組を行うとともに、技能・技術を要する作業後継者の育成・発掘に向けた取組を行いました。

(1) 「一人一会員入会運動」の展開

会員による「一人一会員入会運動」（平成30年度開始）により、新たな仲間が増えました。

区分	H30年度	R元年度	R2年度
紹介による新規入会者	6人	18人	24人

(2) 多様な媒体を活用したセンター事業の紹介

① ホームページによる最新情報の発信

センターの事業や活動内容をより広く知っていただき、新規入会と受注拡大に結び付けるため、ホームページ掲載データの適時更新と内容の充実を図りました。

② 会報「シルバーいせはら」の配付

地域班を通じて会員への個別配付を行うとともに、10月発行の第71号は新聞折込みによる市内全戸配付、また、公共施設等への配架を行いました。

③ パンフレットやチラシ等の活用

センターの案内パンフレットやチラシ・ポスターを作成し、就業・会員拡大委員会の企業訪問時等における配付をはじめ、公共施設への配架・掲出を行いました。

④ タウン誌へのセンター活動掲載

タウン誌の自主的な「シルバー会員優待制度」の紹介記事に合わせて、優待事業所の募集記事を掲載するなど、センター活動の広範な周知を行いました。

(3) 技能・技術講習会の開催

会員の技能・技術の向上と作業後継者の掘り起こし、また、新規入会を促進するため、一般市民も対象とする植木剪定講習会を開催しました。

区分	内容	実施	日数・回数	参加数
会員及び一般市民対象	植木剪定講習会	12月	2日間×1回	15人

【新型コロナの影響】

新型コロナの感染拡大防止に配慮して、予定していた次の講習会・研修会の開催を取りやめました。

区分	内容	予定時期	日数・回数	定員
会員及び一般市民対象	障子張り・刃物研ぎ講習会	6月	1日×1回	15人
会員対象	刈払機安全作業講習会	5月	2日×1回	30人
	ハウスクリーニング講習会	8月	1日×1回	15人
	㊦家事援助・整理収納術講習会	9月	1日×1回	15人
	接遇講習会	10月	0.5日×2回	80人
	自転車安全利用講習会	11月	0.5日×1回	30人
	普通救命講習会	2月	0.5日×1回	20人
	交通整理員研修会	3月	0.5日×1回	35人

- (4) 「剪定見習い制度」の展開
ベテラン会員から剪定の技術や知識、発注者との接し方などを習得する「剪定見習い制度」（令和元年度創設）の運用を行いました。
・剪定見習い就業申出者（令和2年度内）1人
- (5) 会員拡大に向けた委員会活動の展開
就業・会員拡大委員会が企業等を訪問した際に入会募集ポスターの貼付を依頼するなど、会員拡大に向けた活動が行われました。
- (6) 「シルバー会員優待制度」の展開
センターと提携を結ぶ市内事業所において、会員証を提示することで割引・特典が受けられる会員向け事業を継続実施しました。
・優待事業所（令和2年度末現在）24事業所
- (7) ハローワークとの連携
ハローワークとの連携により、センターPRや新規入会の促進を図りました。
- (8) 入会説明会・接遇講習会の開催
入会希望者に対して、センターの設立目的や仕組みを理解したうえで入会していただくため、「入会説明会」を6回開催し、入会後における接客マナーや言葉遣い等の基本を学ぶ「接遇講習会」を5回開催しました。

コース	入会説明会		接遇講習会	
	開催日	受講者	開催日	受講者
4・5・6月	4/9(木)中止、5/14(木)中止、 6/11(木)中止	0人 (30人)	6/30(火)	33人 (21人)
7・8月	7/9(木)、8/13(木)	14人 (13人)	8/17(月)	18人 (10人)
9・10月	9/10(木)、10/8(木)	11人 (20人)	10/20(火)	7人 (13人)
11・12月	11/12(木)、12/10(木)	13人 (26人)	12/23(水)	13人 (18人)
1・2・3月	1/14(木)中止、2/10(水)中止、 3/11(木)中止	0人 (19人)	3/23(火)	11人 (0人)
計		38人 (108人)	—	82人 (62人)

(注) ()内の人数は、昨年度の実受講者数。なお、昨年度の1・2・3月コースの接遇講習会は新型コロナ緊急事態宣言発令中であったため中止とした。

【新型コロナの影響】

年度内に12回（各月1回）の開催を予定していた入会説明会のうち、緊急事態宣言発令中の6回（4/9、5/14、6/11、1/14、2/10、3/11）については開催を中止し、当該説明会への参加希望者に説明書類を送付し、センター運営の仕組みを理解され、設立趣旨に賛同された方の入会申込を受け付ける方法をとりました。

- ・説明書類送付者61人（うち入会者数40人）

2 就業開拓の強化

「一会員一就業開拓運動」を開始するなど、センターが一丸となった就業機会の確保・拡大に向けた活動を展開するとともに、ホームページ等において受注拡大に向けた積極的な情報発信を行いました。

(1) 「一会員一就業開拓運動」の展開

会員一人が一就業を開拓する「一会員一就業開拓運動」を開始し、会員 26 人から 33 件の仕事の紹介がありました。

種別	紹介会員数	件数	受注
会員自らの発注	24 人	31 件	31 件
知人宅等の仕事の獲得	1 人	1 件	1 件
受注の可能性がある発注候補者の情報提供	1 人	1 件	1 件
計	26 人	33 件	33 件

(2) 委員会による積極的な就業開拓活動の展開

就業・会員拡大委員会が市内の企業や団体等を訪問し、会員の就業機会の拡大に努めました。また、工業団地組合等を訪問した際には、加盟企業に対し、定年退職後におけるセンターへの入会を促すチラシの貼付を依頼するなど、入会促進に関する活動もあわせて行いました。

(3) 受注拡大に向けた情報発信

ホームページへの掲載をはじめ、受注単価を紹介するチラシなど、多様な媒体を活用したセンター事業の紹介を行いました。

(4) 独自事業の実施

市環境美化センターとの協定に基づき、ごみの減量化・資源化を図るため、粗大ごみのリサイクル事業として、市との共催によるリサイクルフェアでリサイクル家具の販売を行いました。

- ・実施日及び販売数 令和 2 年 7 月 18 日(土)、10 月 24 日(土)
- ・場所 資源リサイクルセンター
- ・販売点数 669 点

【新型コロナの影響】

独自事業のリサイクル家具の販売を計画していた令和 2 年 5 月 9 日(土)・10 日(日)の 2 日間で開催が予定されていた「公園緑花まつり」が、緊急事態宣言発令期間内となったため、中止されました。

3 就業の公平化・適正化

より多くの会員に就業機会を提供できるよう、ホームページへの求人情報の掲載や就業相談を実施しました。

また、請負と派遣を見極めた契約を締結するなど、適正就業の徹底を図る取組を行いました。

(1) ホームページへの求人情報の掲載

会員だれでも閲覧可能なホームページへの求人に関する最新情報を掲載しました。

(2) 就業相談の実施

未就業会員への就業紹介などを目的とする、予約制による個別就業相談会を開催しました。また、会員の要請に応じた窓口での就業相談を実施しています。

- ・就業相談会：令和2年7月30日(木)、7月31日(金)、8月25日(火)、8月26日(水)

・相談者数：28人

(3) 適正就業の推進

安全管理委員会が実施する会員の就業現場に出向いての安全・適正就業パトロールにおいて、請負・派遣の適正確認を行っています。

また、会員や地域事業所等への「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の配付とともに、就業内容に応じた請負・派遣の適正な契約締結を行いました。

4 安全就業の徹底

会員が健康で安全に就業できるよう、健康・安全意識の高揚と就業中における事故防止に向けた取組を行いました。

(1) 安全・適正就業パトロールの実施

会員の安全確保、適正就業の点検を目的に、安全管理委員会と事務局職員が、会員が就業している事業所や一般家庭、公共施設等の現地へ出向いての安全・適正就業パトロールを実施しました。（実施回数12回・箇所数24か所）

▽事故発生状況（シルバー保険適用事故のみ掲載）

種別	令和元年度	令和2年度	前年比較
傷害	6件	5件	1件減
	①ゴミ出し時後ろ向きでの段差つまずき転倒骨盤骨折1件 ②段差つまずき転倒骨折1件 ③段差つまずき転倒脱臼1件 ④剪定時脚立落下骨折1件 ⑤強風時バイク転倒骨折1件 ⑥刈払機接触負傷1件	①伐根時につるはしが外れ敷石に腰を打ちつけ圧迫骨折1件 ②軽トラ荷台で剪定枝等の積込作業中に転落し肋骨10本骨折1件 ③犬にふくらはぎを咬まれる1件 ④車が横転しハンドルで太もも打撲1件 ⑤自転車で転倒し右手首骨折1件	
賠償	7件	6件	1件減
	①粗大ゴミ搬出時床損傷1件 ②刈払機での飛石による車窓破損2件 ③刈払機での現場事務所損傷1件 ④駐車車両ボンネット損傷1件 ⑤塗装作業時の駐車車両へのペンキ飛ばし1件 ⑥刈払機でのゴルフ場水道管破損1件	①刈払機での飛石による車窓破損2件 ②刈払機での機械警備用配線切断2件 ③刈払機でのゴルフ場水道管破損1件 ④障子取り外し時の敷居破損1件	
計	13件	11件	2件減

(2) 安全就業の確保

① 安全だよりの配付

会員への健康管理、安全就業を促し、事故発生事例等を周知する「安全だよりの」を安全管理委員会が作成し、全会員に配付しました。

② 新型コロナウイルス感染症対策

ホームページや「安全だより」、通知文等による会員への新型コロナウイルス感染症の注意喚起とともに、会員が常駐する就業場所への消毒液の配付など、必要に応じた感染予防対策を講じました。

- (3) 県連合会の「安全就業標語」・「ヒヤリハット事例」募集事業への参加
神奈川県シルバー人材センター連合会が主催する「安全就業標語」・「ヒヤリハット事例」募集事業へ参加することにより、安全意識の醸成と振返りを行いました。

▽「安全就業標語」「ヒヤリハット事例」応募実績

区分	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
安全就業標語	12 点	14 点	21 点	3 点
ヒヤリハット事例	(隔年実施)	4 点	(隔年実施)	2 点

5 組織体制の強化

発注への対応体制の強化を図るため、新たな技能集団の結成に向けた検討を行いました。また、派遣及び入会コーディネーターの採用や県連合会と派遣に関する業務を分担するなど、効率的で効果的なセンター運営を進めています。

(1) 新たな技能班の結成

現在ある植木班、除草班、リサイクル班に加え、発注に迅速かつ的確に対応するための新たな技能集団として、家事援助班等の新設に向けた検討を進めました。

(2) 派遣及び入会コーディネーターの採用

会員の中から「派遣コーディネーター」及び「入会コーディネーター」を採用し、円滑な就業マッチングと新規入会の促進を図りました。

- ・派遣コーディネーター 3 人
- ・入会コーディネーター 1 人

(3) 県連合会との連携による派遣事業の推進

神奈川県シルバー人材センター連合会に派遣事業に係る賃金支払、入金確認などの事務処理の一部を移管することにより、効率的な執行体制の実現と職員数の抑制を図っています。

6 財政基盤の安定

限りある財源を有効に活用するため、効率的で効果的な事務の執行や経費節減に努めました。また、職員の知恵を引き出す「職員提案制度」を創設し、センター運営に反映しました。

(1) 自主財源の確保拡大

会員の増強及び就業開拓の推進・強化等による受注件数・契約金額の拡大に向けた取組を展開しました。

(2) 財源確保と効率的・効果的な事務執行

センターの円滑で安定的な事業運営を図るため、会員の就業機会の確保・拡大とともに、効率的で効果的な事務の執行や経費節減に努めました。

(3) 「職員提案制度」の創設

より効率的・効果的なセンター運営に向け、「職員提案制度」を創設し、有効な職員提案の早期実施を図りました。

▽令和2年度の職員提案

No	タイトル	提案の概要
1	地域班交付金の支払方法・時期の変更	①従来の現金支払いから口座振込とする。 ②すべて年度当初の支払いであったものについて、地域班活動費は年度当初、役員活動費は年度末の支払いとする。
2	会員による「作業中」パウチカードの掲出	A4横長用紙に「作業中・シルバー人材センター」と印刷したものをパウチして会員に無料配布し、就業先で会員車両を駐車する際にはフロントガラス内側への掲出を促進する。

7 会員の交流・親睦活動の活性化

イベントへの参加やボランティア活動を通じて、会員と地域の方々との交流が行われました。

(1) 会員の交流・親睦活動

【新型コロナの影響】

会員活性化委員会が企画・実施を予定していた会員を対象とする「日帰りバス旅行」と「シルバーフェスタ 2020」の開催を取りやめました。また、予定していた会員自主的な同好会活動のすべてが中止されました。

同好会	活動計画	実施予定場所
ハイキング	7・8月を除く年10回実施	各所
麻雀	月4回の実施	伊勢原南公民館
卓球	月4回の実施	行政センター体育館
パソコン	月4回の実施	中央公民館
水墨画	月1回の実施	高部屋公民館

(2) 地域活動を通じた会員交流

地域イベントへの参加やボランティア活動を通じた地域の方々との交流が行われるとともに、会員の連携強化が図られました。

区分	内容	備考
イベントへの参加	リサイクルフェア	令和2年7月18日(土)、10月24日(土)
ボランティア活動	シティプラザ周辺樹木剪定	令和2年10月28日(水)
	通学児童生徒の見守り	登録会員：38人 従事日数：月平均9.73日/人

【新型コロナの影響】

会員が参加を予定していた次のイベントが、新型コロナ感染拡大の防止・予防のため中止となりました。

イベント	活動計画
公園緑花まつり	場外でのセンターPR及び体育館内でのリサイクル家具販売
サポセンフェスタ	刃物研ぎ出店及びセンターPR
道灌まつり	まつり会場内メイン通路の清掃美化作業
芝桜まつり	芝桜の開花時期に合わせた渋田川清掃作業
いせはら芸術花火大会	花火大会翌日の清掃作業

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	402,821	480,029	△ 77,208
普通預金	46,389,325	42,946,090	3,443,235
定期預金	3,512,542	3,512,542	0
未収金	19,313,234	18,675,904	637,330
立替金	377	0	377
前払金	535,914	596,797	△ 60,883
流動資産合計	70,154,213	66,211,362	3,942,851
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(2) その他固定資産			
車輛運搬具	3	3	0
什器備品	2	2	0
電話加入権	382,200	382,200	0
預託金	24,360	24,360	0
その他固定資産合計	406,565	406,565	0
固定資産合計	406,565	406,565	0
資産合計	70,560,778	66,617,927	3,942,851
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	23,561,272	21,002,305	2,558,967
前受金	93,662	109,865	△ 16,203
預り金	308,790	310,289	△ 1,499
流動負債合計	23,963,724	21,422,459	2,541,265
負債合計	23,963,724	21,422,459	2,541,265
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	46,597,054	45,195,468	1,401,586
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	46,597,054	45,195,468	1,401,586
負債及び正味財産合計	70,560,778	66,617,927	3,942,851

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	292,498,727	291,694,702	804,025
受取配分金	266,237,508	265,448,905	788,603
受取材料費等	4,797,094	4,805,647	△ 8,553
受取事務費	21,464,125	21,440,150	23,975
労働者派遣事業等受託収益	946,402	1,164,400	△ 217,998
労働者派遣事業等受託収益	946,402	1,164,400	△ 217,998
受取会費	1,550,000	1,650,000	△ 100,000
正会員受取会費	1,550,000	1,650,000	△ 100,000
受取補助金等	23,300,768	24,702,000	△ 1,401,232
受取連合交付金	10,339,000	10,739,000	△ 400,000
受取（市）補助金	12,843,000	13,243,000	△ 400,000
受取（国）助成金	118,768	720,000	△ 601,232
雑収益	480	1,189	△ 709
受取利息	480	1,189	△ 709
経常収益計	318,296,377	319,212,291	△ 915,914
(2) 経常費用			
事業費	309,875,872	311,878,003	△ 2,002,131
支払配分金	266,237,508	265,448,905	788,603
支払材料費等	4,483,045	4,548,029	△ 64,984
給料手当	17,487,990	17,701,333	△ 213,343
臨時雇賃金	5,628,459	5,636,776	△ 8,317
法定福利費	2,868,415	2,836,348	32,067
退職給付費用	1,147,080	1,128,000	19,080
福利厚生費	33,169	32,883	286
会議費	12,840	11,313	1,527
旅費交通費	1,800	12,598	△ 10,798
通信運搬費	1,111,113	1,366,271	△ 255,158
減価償却費	0	1	△ 1
什器備品費	0	35,860	△ 35,860
消耗品費	186,874	444,487	△ 257,613
修繕費	138,600	247,750	△ 109,150
印刷製本費	687,500	667,052	20,448
光熱水料	282,400	439,693	△ 157,293
賃借料	2,617,680	3,802,435	△ 1,184,755
保険料	2,502,070	2,655,320	△ 153,250
諸謝金	559,360	754,640	△ 195,280
租税公課	1,044,100	1,129,200	△ 85,100
組織活動助成費	350,722	366,600	△ 15,878
委託費	2,403,331	2,513,964	△ 110,633
支払手数料	91,816	98,545	△ 6,729

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	7,018,919	7,234,341	△ 215,422
役員報酬	468,000	537,000	△ 69,000
給料手当	4,028,332	4,028,332	0
法定福利費	653,997	650,446	3,551
福利厚生費	7,169	7,038	131
会議費	1,512	16,778	△ 15,266
役員等旅費交通費	0	2,712	△ 2,712
旅費交通費	2,536	6,234	△ 3,698
通信運搬費	339,626	369,882	△ 30,256
什器備品費	0	12,960	△ 12,960
消耗品費	125,887	183,766	△ 57,879
修繕費	64,075	16,060	48,015
印刷製本費	293,920	268,128	25,792
光熱水料	5,427	7,307	△ 1,880
賃借料	244,648	259,333	△ 14,685
保険料	198,447	268,149	△ 69,702
租税公課	22,500	12,900	9,600
支払負担金	190,000	198,500	△ 8,500
委託費	356,363	369,493	△ 13,130
支払手数料	6,480	7,706	△ 1,226
雑費	10,000	11,617	△ 1,617
經常費用計	316,894,791	319,112,344	△ 2,217,553
評価損益等調整前当期經常増減額	1,401,586	99,947	1,301,639
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	1,401,586	99,947	1,301,639
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,401,586	99,947	1,301,639
一般正味財産期首残高	45,195,468	45,095,521	99,947
一般正味財産期末残高	46,597,054	45,195,468	1,401,586
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	46,597,054	45,195,468	1,401,586

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	シルバー人材センター事業	小計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	287,357,702	287,357,702	5,141,025	292,498,727
受取配分金	266,237,508	266,237,508	0	266,237,508
受取材料費等	4,797,094	4,797,094	0	4,797,094
受取事務費	16,323,100	16,323,100	5,141,025	21,464,125
労働者派遣事業等受託収益	946,402	946,402	0	946,402
労働者派遣事業等受託収益	946,402	946,402	0	946,402
受取会費	775,000	775,000	775,000	1,550,000
正会員受取会費	775,000	775,000	775,000	1,550,000
受取補助金等	20,796,768	20,796,768	2,504,000	23,300,768
受取連合交付金	10,339,000	10,339,000	0	10,339,000
受取（市）補助金	10,339,000	10,339,000	2,504,000	12,843,000
受取（国）助成金	118,768	118,768	0	118,768
雑収益	0	0	480	480
受取利息	0	0	480	480
経常収益計	309,875,872	309,875,872	8,420,505	318,296,377
(2) 経常費用				
事業費	309,875,872	309,875,872	0	309,875,872
支払配分金	266,237,508	266,237,508	0	266,237,508
支払材料費等	4,483,045	4,483,045	0	4,483,045
給料手当	17,487,990	17,487,990	0	17,487,990
臨時雇賃金	5,628,459	5,628,459	0	5,628,459
法定福利費	2,868,415	2,868,415	0	2,868,415
退職給付費用	1,147,080	1,147,080	0	1,147,080
福利厚生費	33,169	33,169	0	33,169
会議費	12,840	12,840	0	12,840
旅費交通費	1,800	1,800	0	1,800
通信運搬費	1,111,113	1,111,113	0	1,111,113
消耗品費	186,874	186,874	0	186,874
修繕費	138,600	138,600	0	138,600
印刷製本費	687,500	687,500	0	687,500
光熱水料	282,400	282,400	0	282,400
賃借料	2,617,680	2,617,680	0	2,617,680
保険料	2,502,070	2,502,070	0	2,502,070
諸謝金	559,360	559,360	0	559,360
租税公課	1,044,100	1,044,100	0	1,044,100
組織活動助成費	350,722	350,722	0	350,722
委託費	2,403,331	2,403,331	0	2,403,331
支払手数料	91,816	91,816	0	91,816

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	シルバー人材センター事業	小計		
管理費	0	0	7,018,919	7,018,919
役員報酬	0	0	468,000	468,000
給料手当	0	0	4,028,332	4,028,332
法定福利費	0	0	653,997	653,997
福利厚生費	0	0	7,169	7,169
会議費	0	0	1,512	1,512
旅費交通費	0	0	2,536	2,536
通信運搬費	0	0	339,626	339,626
消耗品費	0	0	125,887	125,887
修繕費	0	0	64,075	64,075
印刷製本費	0	0	293,920	293,920
光熱水料	0	0	5,427	5,427
賃借料	0	0	244,648	244,648
保険料	0	0	198,447	198,447
租税公課	0	0	22,500	22,500
支払負担金	0	0	190,000	190,000
委託費	0	0	356,363	356,363
支払手数料	0	0	6,480	6,480
雑費	0	0	10,000	10,000
経常費用計	309,875,872	309,875,872	7,018,919	316,894,791
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	1,401,586	1,401,586
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	1,401,586	1,401,586
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	1,401,586	1,401,586
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	1,401,586	1,401,586
一般正味財産期首残高		△ 100,000	45,295,468	45,195,468
一般正味財産期末残高		△ 100,000	46,697,054	46,597,054
II 指定正味財産増減の部				
(1) 収益				
収益計	0	0	0	0
(2) 費用				
費用計	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		△ 100,000	46,697,054	46,597,054

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に疑義はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び什器備品について、定額法による減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

該当なし

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5,271,155	5,271,152	3
什器備品	800,500	800,498	2
合計	6,071,655	6,071,650	5

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9. 保証債務等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし

1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
連合交付金	国	0	10,339,000	10,339,000	0	-
市補助金	市	0	12,843,000	12,843,000	0	-
助成金						
雇用調整助成金	国	0	118,768	118,768	0	-
合計		0	23,300,768	23,300,768	0	

1 2. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

1 3. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

1 4. 関連当事者との取引の内容

該当なし

1 5. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

1 6. 重要な後発事象

該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

2. 引当金の明細

該当なし

財産目録

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
	現金預金	現金 手元保管	シルバー人材センター事業における運転資金	390,348	
			法人管理における運転資金	12,473	
		普通預金 横浜銀行伊勢原支店	シルバー人材センター事業における運転資金	707,669	
			法人管理における運転資金	42,485,786	
		普通預金 中栄信用金庫伊勢原支店	シルバー人材センター事業における運転資金	2,557,935	
			法人管理における運転資金	534,410	
		普通預金 大和ネクスト銀行エビス支店	法人管理における運転資金	103,525	
			定期預金 大和ネクスト銀行エビス支店	法人管理における運転資金	3,512,542
		立替金	R3年度役員個人負担保険料	法人管理における運転資金	377
		未収金	請求書 R3年3月分241件 他	シルバー人材センター事業における契約金額	19,305,234
	会員年会費(R2年度)			R2年度継続会員年会費4人分	8,000
	前払金	消費税	消費税中間申告	468,700	
		業者支払 等	シルバー人材センター事業に供する経費	6,000	
			法人管理に供する経費	61,214	
流動資産合計				70,154,213	
(固定資産)					
その他の固定資産	車両運搬具	車両2台	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	2	
		車両1台	法人管理の財産であり、法人管理に使用している	1	
	什器備品	金庫他	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	2	
		電話加入権	電話4回線	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	310,200
	電話1回線		法人管理の財産であり、法人管理に使用している	72,000	
	預託金	車両2台	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	16,710	
		車両1台	法人管理の財産であり、法人管理に使用している	7,650	
	固定資産合計				406,565
資産合計				70,560,778	
(流動負債)					
	未払金	配分金449名(R3年3月分)	シルバー人材センター事業に供する配分金 等	20,350,173	
			業者支払 等	3,122,175	
			法人管理に供する経費	88,924	
	前受金	会員年会費(R3年度)	R3年度新入会員年会費8人分	16,000	
		ふるさと納税	シルバー人材センター事業に供する経費	36,180	
		その他	発注者前払金 他	41,482	
	預り金	社会保険料 等	職員の社会保険料 等	276,830	
		その他	シルバー人材センター事業に供する手数料 他	31,960	
	流動負債合計				23,963,724
	負債合計				23,963,724
正味財産合計				46,597,054	